島根大学言語教育研究会　第１３回研究発表会　報告

日時　　平成 24 年 3 月 23 日（金）10 時 15 分～ 11 時 00 分

会場　　島根大学教育学部 265 研修室

発表題目　**言語教育研究と教科内容学**

―言語文化教育プロジェクトの方向性―

発表者　　**福田　景道**

司　会　　福田　哲之

〔発表の概要〕

島根大学教育学部の国語教育と英語教育の専門教員と附属学校（小・中）の国語科・英語科教員による共同研究は,『言語コミュニケーション教育の研究と開発』（島根大学教育学部紀要第 44 巻別冊特集号,2011 年）の刊行をもって，第一段階が終結したと考えられる。次の段階として，新たな課題（①新学習指導要領への対応，②教科教育学と教科内容学の連繋，③教育実践力育成方法の探究，……）に対処する方途の探究を主軸とする新プロジェクトの実働がもとめられる。これまでの成果を継受しつつ，国語と英語，学部と附属学校の連繋をさらに有効化する必要があると考えられる。

なお，研究発表会終了後の話合いで，平成 24 年度も研究プロジェクトと島根大学言語教育研究会の継続が合意された。

〔参考〕島根大学言語教育研究会　研究発表会開催記録

回	開催月日	会場	発表題目	発表者	司会者
1	2008年9月29日	附属中学被服教室	教育学部国語専攻生の授業履修動向について ―日本文学史Ｉの授業改善の結果から―	福田　景道	川井史生
2	2009年2月10日	教育学部265研修室	生徒・学生にとって必要なコミュニケーション能力とは	大谷みどり	足立悦男
3	2009年7月10日	教育学部265研修室	言語学から見た「ことばの力」	縄田　裕幸	福田景道
4	2009年9月11日	教育学部265研修室	「正しく美しい言葉」から遠く離れて ―『新編新しい国語二』	田中　俊男	福田景道
5	2009年12月11日	教育学部265研修室	新学習指導要領のポイント ：初等，中等教育の連携の視点から	猫田　英伸	縄田裕幸
6	2010年1月29日	教育学部265研修室	ローマ字教育の現在	冨安　慎吾	田中俊男
7	2010年6月25日	教育学部265研修室	国語の授業と日本語文法	百留　康晴	冨安慎吾
8	2010年9月17日	教育学部265研修室	文法意識を高めるインプットを与えることの効果について～「現在完了形」の実践を通して～	高田　純子	猫田英伸
9	2010年10月8日	教育学部265研修室	論文指導と文法教育に関する一考察 ―until節に生起する動詞句を例として―	林　　高宣	縄田裕幸
10	2010年11月18日	教育学部265研修室	「伝統的な言語文化」と書写教育 ―書体史研究から見えてくるもの―	福田　哲之	百留康晴
11	2011年7月8日	教育学部212研修室	ハーンの日本文化論	高瀬　彰典	福田景道
12	2011年9月16日	教育学部212研修室	漢文学習考 ―「漢文学基礎講義」の実践を通して―	竹田　健二	冨安慎吾
13	2012年3月23日	教育学部265研修室	言語教育研究と教科内容学 ―言語文化教育プロジェクトの方向性―	福田　景道	福田哲之